

社員旅行 in 沖縄

2024年の社員旅行は、2泊3日の沖縄旅行!楽しかった旅の様子を、写真とともにお届けします。



なかむら かずあき
中村 和明さん

＼隠れた名スポットを巡る旅！＼

今回の社員旅行は、過去に沖縄に来たことがある人でも新鮮な気持ちで楽しめるように、王道ではない隠れた名スポットを中心にプランニングしました。
個人的には、ピオスの丘や、古宇利島のオーシャンタワーから見下ろす景色が印象に残っています。その他にも、王道の国際通りや平和記念公園、ひめゆりの塔も訪れ、皆さんにとって充実した2泊3日になったのではないのでしょうか。また、平和記念公園やひめゆりの塔は急遽予定を変更して、コースに組み込んでいただきました。柔軟に対応してくださったバス会社さんとガイドさんには、深く感謝しております。
次の社員旅行は北海道に決まりました。沖縄旅行と同じく、皆が行ったことのないところを狙って巡る旅にしたいと思います。



つしの たつま
辻野 竜馬さん

＼初めての社員旅行！＼

初めての沖縄なので楽しめました。また、中村電設に入社して初めての旅行でしたので、新鮮でした。またよろしくお願ひします。



やまもと あつし
山本 篤司さん

＼十数年ぶりのプール！＼

旅行1泊目のホテルのプールで泳いだのがめちゃくちゃ楽しい思い出です。プールで遊んだのは十何年ぶりだったので、最高でした。



のむら てつひろ
野村 哲弘さん

＼ビールが最高！＼

オリオンビール工場見学が印象に残っています。できたてビール、最高でした。



ほりうち えいた
堀内 瑛太さん

＼ビール工場での1杯に舌鼓！＼

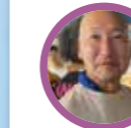
5年ぶりということもあり、総じて楽しく過ごせたかなと思います。オリオンビールの工場に行った際にいただいたビールが一番おいしかったです。



できたたいじ
出来田 泰二さん

＼海とショッピング！＼

さすがに海は綺麗ですね!国際通りの買い物も楽しめました。



かなお ともみ
金尾 知美さん

＼オーシャンビューに感動！＼

透き通った青い海と、高台から望む景色が最高でした。



なかむら まもる
中村 守さん

＼全力で楽しめた！＼

初めての沖縄で、行きたいところに行けたわけではありませんでしたが、全力で楽しみました。



さいとう ふうま
齊藤 風馬さん

＼大阪にはない魅力が満載！＼

沖縄独自の、大阪では味わえない自然な感じや、自然に囲まれた空間で生活するだけでとても有意義な時間を過ごせました。



今
ホットな

現場紹介

中村社長が選ぶ、今注目のホットな現場をご紹介するこちらの企画。
今回は、この夏スタートする、ある工場の電気品更新工事について
教えていただきました。「注力してもらいたいポイント」を必ず確認の上、
安全で確実な工事を目指していきましょう!

社長
なかむら かずあき
中村 和明さん



今ホットな現場

三菱マテリアル三宝製作所の 電気品更新工事

着工予定

2024年8月中旬

スケジュール

- ①夏休みの期間にケーブルを引くためのルートを作る
- ②年末にケーブルを引っ張る工事を行う
- ③2025年のゴールデンウィーク頃に仕上げ作業を行う



天井クレーンを利用してケーブルを敷設

この現場で注力してもらいたいポイント

安全第一!一人ひとりが 責任感を持って取り組もう

今回は約180mに渡る長距離の沿線工事です。加えて高い場所での作業となるため、必ずハーネス安全帯を使用するようにしてください。その他、天井クレーンに乗る場合は挟まれないよう注意するなど、安全面の配慮を徹底しましょう。

工事の本質的なところと言うと、ノイズへの対策をしっかり行ってほしいと思います。前回までの工事と体制が変わっていることもあり、当社の責任が増していることを念頭に置き、責任感のある行動で確実な工事を進めていくことが重要です。



こちらでの工事はこれまで約5年間に渡り行ってきたもので、大きな電気品更新工事としては今回が最後です。思い入れがある分、ミスなくしっかりと締めくりたいと思っています。

今後の注目現場

新システム導入に関わる大型案件に注目

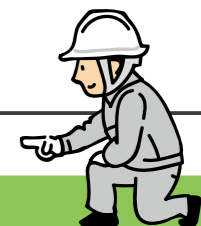
日本製鉄で導入する、新システムの据え付けに関する電気工事を一手に任せられることになりました。システムの概要としては、ICタグのカードを利用して、工場への人や車の出入りを管理していくというもの。金額的に見ても相当大きな工事であるとともに、工場運営の根幹を成す、とても重要な工事となるため、気を引き締めて取り組みたいと思っています。

充電部が露出している開閉器(ブレーカー)の操作をされる方は全員対象!

「特別教育」



2024年7月から12月にかけて、労働安全衛生規則に則った安全教育「特別教育」を実施します。
事務所勤務者や協力会社社員など、従来よりも対象者が幅広いのが特徴です。
講師を務める社長より、目的や意気込みを語っていただきます。



「特別教育」概要

労働安全衛生規則に則った安全教育の実施

法令で定められた数十種類の労働安全項目のうち、「低圧電気取扱業務特別教育」を、当社でも実施しております。

当社がお世話になっている日本製鉄の工場では、ブレーカー操作に携わる可能性のある人は、全員この教育を受けることが義務化されました。受講期間は2024年7月～12月の半年間。まず7月は15回、設備関係部門のスタッフの方々と、日本製鉄の協力会社の方々と対象に実施しました。工場勤務者だけでなく、事務所勤務者も対象となり、合計300名ほどが15回に分かれて受講します。講師は、10年以上の講師経験のある私が務めます。



気をつけたい点

受講者の担当分野も社歴も多岐にわたるため、全員が理解できる説明を心がけたい

2019年に、日本製鉄は、日鉄日新製鋼を吸収合併しました。日鉄日新製鋼単体の時代も、安全管理に対してかなり厳しい体制をとっていましたが、合併後はそれ以上に厳格な取り組みを始めました。工場を共有する当社や当社の協力会社の従業員にも同じ水準が求められます。今回の特別教育の対象は、若手から60代のベテランまでの全年代、かつ、工場勤務のラインオペレーターや天井クレーンのオペレーターの担当者など、今まで受講対象外だった従業員も含まれます。そのため、要点を押さえつつ、現状で行き届いていないところの一つひとつ確認しながら学ぶ場にしなければなりません。当然ですが、資料も最新の情報にアップデートし、本番に向けて準備中です。

余談ですが、今までにない数の修了証の作成には、今から戦々恐々としています。氏名の漢字の表記ミスなど発生しないように努めます。



今後の教育で取り組みたいこと

教育するからには、受講者に必要事項をインプットして帰ってもらわなければなりません。私としては、皆さんにわかりやすい説明ができるように、プレゼンテーション能力の面でスキルアップしていきたいと考えています。



社員の皆さんへ メッセージ

汗をかきやすい夏場は感電災害が増えます。普段以上に注意して現場業務にあたってください。